

2022年10月28日

各 位

会 社 名 アンリツ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 濱田 宏一  
 (コード：6754、東証プライム)  
 問合せ先 取締役 専務執行役員 CFO 窪田 顕文  
 (TEL. 046 - 296 - 6507)

## 2023年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年10月28日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年4月28日に開示した2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の業績予想を、以下のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

### 1. 2023年3月期の連結業績予想数値の修正（IFRS・2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	当期利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的 1株当たり 当期利益 (円)
前 回 発 表 予 想(A)	115,000	19,000	19,000	14,000	14,000	105.08
今 回 修 正 予 想(B)	115,000	17,500	19,000	14,000	14,000	105.08
増 減 額(B-A)	—	△1,500	—	—	—	—
増 減 率 (%)	—	△7.9	—	—	—	—
(参考) 前 期 実 績 (2022年3月期)	105,387	16,499	17,150	12,841	12,796	93.98

(参考) 上期為替レート : 1米ドル=134円  
 下期想定為替レート : 1米ドル=140円

### 2. 修正の理由

世界経済は、物価上昇に加え、金融引き締め政策や地政学的リスクの高まり等により、景気後退が懸念されています。

当社グループの主力である通信計測事業においても、原材料価格の高騰及び世界的なインフレの業績への影響が当初の想定を上回っています。ついては、上期の実績も踏まえて、通信計測事業の営業利益を15億円下方修正します。想定為替レートは下期1米ドル140円、1ユーロ135円に見直しています。

PQA（プロダクツ・クオリティ・アシュアランス）事業及びその他事業においては期初計画からの変更はありません。

税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益については、営業利益の修正、金融収益・費用の計上の影響を織り込んだ結果、期初計画からの変更はありません。

なお、配当につきましては、期初計画どおり1株当たり年間40.00円を予定しております。

(参考)

### セグメント別売上収益の予想

(単位：百万円)

	前回発表予想(A) (2022年4月28日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績
売上収益	115,000	115,000	—	—	105,387
通信計測	78,000	78,000	—	—	73,320
P Q A	24,000	24,000	—	—	21,978
その他	13,000	13,000	—	—	10,089

### セグメント別営業利益の予想

(単位：百万円)

	前回発表予想(A) (2022年4月28日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績
営業利益	19,000	17,500	△1,500	△7.9	16,499
通信計測	17,500	16,000	△1,500	△8.6	15,202
P Q A	1,300	1,300	—	—	1,173
その他	1,200	1,200	—	—	1,123
調整額	△1,000	△1,000	—	—	△999

### 地域別売上収益の予想

(単位：百万円)

	前回発表予想(A) (2022年4月28日発表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)	(参考) 前期実績
売上収益	115,000	115,000	—	—	105,387
日本	36,000	33,500	△2,500	△6.9	31,036
海外	79,000	81,500	2,500	3.2	74,350
米州	25,000	25,000	—	—	23,065
EMEA	12,500	14,000	1,500	12.0	11,605
アジア他	41,500	42,500	1,000	2.4	39,679

(注) EMEA (Europe, Middle East and Africa) : 欧州・中近東・アフリカ地域

(注意事項)

本発表資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定や判断に基づくものであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場のなかでアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。ただし、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。